

合志市総合計画進行管理 【合志市総合政策審議会意見・指摘事項】

1 市民参画によるまちづくりの推進

【地域活動への市民参画、自治会への加入促進を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市が想定しているまちづくりの範囲が分かりづらい(地域別、市全体)。
- ・生活圏が違う市民に対する合志市に対する関心の強化が必要。
(居住地は合志市だが、勤務先や学校が市外の人)
- ・自治会の存在意義を明確にすること。
- ・各地区の実情に合わせて自治会活動の見える化をすること。
- ・地域の活動に子どもが参加しやすい仕組みを検討すること。
- ・地域の活動を知るための広報手段を検討すること。

【外国人との相互理解を深め、交流の促進を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市民と外国人との相互理解を進めること。
- ・外国人との交流の機会を増やすためのイベントなどを企画すること。
- ・災害など有事の際に外国人が困らないように防災に対する意識づけを日常的に行うこと。
- ・外国人の地域活動への参画を促すこと。

2 行政改革の推進

【業務の見直しを進め、DXをさらに加速させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・DX推進のため業務内容のたな卸を行い、デジタル化できるものについては積極的にデジタル化していくこと。
- ・DXを推進することにより、業務効率化のみならず、残業時間の削減など働き方改革に努めていくこと。
- ・業務の多様化、デジタル技術の進展の対応していくデジタル人材の育成を進めること。

【職員がいきいきと働ける環境を作り、職員の対応力を向上すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・職員がいきいきと働ける職場環境を作っていくために、職員の意識改革を行うこと。
- ・職員の心身の健康のための働き方を検討していくこと。
- ・行政の対応力向上のため、職員の業務に関する知識や意識を高めること。

3 財政の健全化

【自主財源の確保に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ふるさと納税の金額を増やすために特産品の開発努力を行うこと。
- ・今後子育て支援が特に必要となるため、財源の確保に努めること。
- ・合志市で生まれ育った若者が大学等で市外に出て行っても、将来合志市に戻ってきてくれるよう市の魅力の強化に努めること。
- ・人の流れを作ると消費や納税等で財源の確保に繋がるため、住みやすい環境作りに努めること。

【将来を見据えた施設の建設を行なうこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・学校建設や大学誘致など将来を見据えた建設をすること。

4 子育て支援の充実

【親が安心できる保育環境を整備し、支援を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・親が安心して預けられるように園の経営に対する支援を行うこと。
- ・待機児童や保留児童に対する対応を保護者に寄り添ってきめ細かく行うこと。
- ・一時預かりや病児保育の充実を図ること。
- ・保育士不足への対策を行うこと。
- ・多様な保育のニーズに柔軟に対応できるよう対策を講じること。

【子育て支援情報について積極的な情報発信に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市役所からの周知方法を工夫すること。
- ・各種支援について市から積極的な周知が必要。
- ・相談しやすい環境づくりに努めること。

【こどもが安心して遊べる施設を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・児童館施設などを充実させること。
- ・こどもの遊び場の充実を図ること。
- ・自由に自転車に乗れる施設が欲しい。

5 健康づくりの推進

【心身の健康施策の更なる充実と、市民の意識向上を図るよう努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・心の健康施策を充実させること。
- ・各種健康施策の周知方法を工夫すること。
- ・一人暮らしの食事の栄養管理に留意すること。

6 社会福祉の推進

【民生・児童委員やボランティアのなり手不足解消に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・民生委員・児童委員活動に必要な情報提供を行うこと。
- ・ボランティアの後継者不足を解消するため、市から持続的な広報を行うこと。
- ・ボランティア活動の意義や思いを積極的に発信していくこと。

【地域の見守り体制を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・地域福祉を進めるため、自治会の協力や連携強化が必要。

7 高齢者の自立と支援体制の充実

【高齢者が地域とつながる場所や機会の提供を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・高齢者が社会とのつながり継続できる場所の提供を行うこと。
- ・高齢者とあらゆる世代とのつながりが必要。
- ・閉じこもりがちな高齢者の居場所づくりを行うこと。
- ・高齢者と自治会とのつながりを継続すること。

【孤立している高齢者の支援に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・閉じこもりがちな高齢者の見落としをなくすこと。
- ・一人暮らしの高齢者の食事の栄養状態が心配。
- ・ボランティアや民生委員の協力が必要。

8 障がい者（児）の自立と社会参加の促進

【障がいの疑いがある子の親への支援方法を検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・障がいの疑いがある子の親への支援方法を検討すること。
- ・親の理解がないと支援が必要なこどもを行政につなげることが難しい。
- ・障がい児の親に対する先進的な取組みを調査し周知してほしい。

【障がい者（児）や支援している人が交流できる場所や機会の提供を行うこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・皆で話し合い理解する機会を作ること。
- ・地域との交流が図れる場所を作ること。
- ・同じ悩みの人の声をたくさん吸い上げること。
- ・当事者の体験談の周知・啓発を図ること。

【障がい者（児）が自立した生活を行うための支援策を充実させること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・療育の専門知識を持った人が、幼保施設を訪問する機会があれば早期の療育支援に繋げやすい。
- ・働きやすい環境づくりを行うこと。

9 義務教育の充実

【社会性やコミュニケーション能力を身に着けることができる教育を推進すること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・学力向上および社会性（コミュニケーション能力など）を身に着けてほしい。
- ・こどもたちが自主的に自分の意見を言える教育が大事だと感じる。
- ・ふるさと教育（郷土の歴史やなりたちに触れることで郷土意識を醸成する教育）の充実を図り、ふるさとに自信と誇りを持てる教育を行うこと。

【ICT 機器はこどもたちの健康に留意し、効果的に活用すること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ICT 機器利用による影響（視力・重量等）に最大限配慮した取り組みを行うこと。
- ・タブレット PC を学年や習熟度に応じて効果的に活用すること。
- ・ICT 機器の不備へは迅速な対応を行い、公平な学習機会の確保を行うこと。

【多様なこどもたちに関わる教師の負担を軽減するため、専門知識をもった人員や補助員を適切に配置すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・合志市でも「副校長・教頭マネジメント支援員」の導入を。
- ・特に低学年で学校教育活動指導員の人数を増やしてほしい。
- ・スクールカウンセラーを増やしてほしい。
- ・特別支援教育免許を持った先生が現場に欲しい。
- ・発達グレーゾーンのこどもの増加に伴い教育介護補助員を充実させてほしい。
- ・市内小中学校の特別支援学級・通級指導等に通っていたこどもたちや、支援学校から就職を希望するこどもたちのため、企業との橋渡しができる人材を配置してほしい。

【自転車通学をするこどもたちが安全に登下校できるよう、練習場所の提供や乗り方教室・交通安全教育を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・毎年、年度初めの数カ月は中学1年生の交通事故が多く心配。
- ・自転車の乗り方を練習する場所がないという声がある。校庭を開放できないか。

10 生涯学習の推進

【健幸都市こうしとして、健康に関する講座の充実を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・生涯学習の視点で屋外でのレクリエーションなども充実してほしい。
- ・健康講座は開催されているが、もっと数を増やしてほしい。

【生涯学習講座は、初心者向け・高齢者向け・こども向けなど、市民が参加しやすい内容になるよう工夫すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・高齢者向けの英会話教室など語学の講座を充実させてほしい。
- ・学校の長期休みにこども・親子向けに興味を引くような取り組みを充実させてほしい。

【市民が講座に参加しやすい環境整備を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・講座等に参加しやすいように、開催時間と公共交通との調整をしてほしい。
- ・参加したくてもできない人のために、より住宅地に近い会場（公民館等）での開催も検討すること。

1 1 生涯スポーツの推進

【市の体育館が利用しやすい施設になるように環境整備を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・コロナ禍前よりヴィーブル体育館の利用者が減少しているため、対策を考えること。
- ・市体育館への空調設備の整備や、不具合箇所の修繕を行うこと。
- ・予約方法や利用方法について、利用者の立場に立って見直しを検討すること。

【指導者の確保や人材育成、制度の周知を行い、将来にわたりスポーツの活性化に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・指導者等の人材確保が必要。
- ・募集方法の工夫、学生（大学生）などにも声かけできないか等検討すること。
- ・生涯学習人材バンク登録者の充実。
- ・スポーツ推進委員の浸透・普及が必要。出前講座の利用促進をすること。

1 2 人権が尊重される社会づくり

【相談窓口の周知方法を工夫し、相談しやすい環境を整えること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・地域を巡回する相談員を市で雇ってほしい。(※人権教育指導員 3 人（市役所・人権ふれあいセンター・合生文化会館）・地域人権教育指導員 1 人・人権擁護委員 9 人がおり、電話・学校・市民センター等での相談を受け付けている)

- ・学校では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談できるようになっているが、人員不足ですぐに相談できない実情がある。
- ・啓発する際には、ユニバーサルデザイン（年齢・性別・文化の違い・障がいの有無によらず、誰にとっても分かりやすく使いやすい設計）の視点を持って行うこと。

【住民の人権意識を高め、さまざまな立場の人がお互いを尊重できる社会を目指すこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・こどもたちは学校で人権教育を受ける機会がある。大人も時代に合った人権意識を学ぶ必要があると感じる。（LGBTQ、ハンセン病、外国人等）
- ・外国人との相互理解・共存共栄を図るための取り組みを増やしていく必要がある。
- ・障がい者にとっての“障害”は、環境や周囲の理解不足によるもの。

1 3 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成

【伝統文化や文化財を活用し、地域の活性化につなげること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・市行事の一部で伝統文化（神楽や踊り等）を披露してもらうなど、発表の機会を増やすこと。
- ・文化財の保存だけではなく、付加価値をつけるような取り組みを行い、郷土愛の醸成や交流人口増加、ひいては地域の活性化につなげること。（文化財を巡る散策路を設定して日常的に歩く、イベントに活用する等）

【ふるさとカルタやカタルパの樹（書籍）を活用し、郷土愛の醸成を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ふるさとカルタやカタルパの樹の周知方法に工夫が必要である。（例：菊池市は菊池一族のイラストを自販機にラッピングしている）
- ・幼児や小学校低学年向けのふるさとカルタを作成し、幼いころから合志市の歴史や文化に親しんでもらうこと。
- ・外国語版のカルタを国際交流のきっかけづくりに活用すること。

1 4 危機管理対策の推進

【緊急事態の避難行動について周知し、市民の意識向上を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ 緊急時（武力攻撃事態、テロ等）の行動について市民へ周知徹底すること。
- ・ 危機管理上の意識改革を市民へ促すこと。

【市として新型コロナウイルス感染症を振り返り今後活かすこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ 組織として新型コロナを振り返り、新しい感染症に対する具体的な対策ロードマップを考えること。

1 5 防災対策の推進

【避難所となる施設の運営方法について協議すること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ 地区防災計画の策定支援に努めること。
- ・ 避難所運営に関する委員会を立ち上げること。
- ・ 長期の避難所運営には市民の積極的な参加が必要。市はそのための啓発を行うこと。
- ・ ペット受入避難所の運営方法を検討すること。（合志市地域防災計画書では合志市役所防災拠点センターを指定避難所としている）
- ・ 地域の状況に合わせて地区防災計画にペットについて取り上げること。

【自主防災組織を支援する取り組みを行うこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ 自主防災組織のスムーズな運営のために、自治会への加入率を上げる必要がある。
- ・ 災害時には、自治会の加入に関係なく速やかに情報が届くよう、市の情報発信ツール（HP・LINE・SNS等）を使って自主防災組織の情報を発信できる仕組みが必要。

- ・市民の防災意識を高め、地域の防災訓練に積極的に参加するよう、日頃から啓発し周知方法の工夫に努めること。

1 6 交通安全対策の推進

【ドライバー・歩行者のマナー向上を図り事故を減らす取り組みをすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・こども達の安全のため、大人がルールを守ること。
- ・大人のヘルメット着用があまり見受けられないので啓発活動すること。
- ・外国から日本に住む方が増えてきているので、日本での交通ルールを周知する機会を設けること。

【道路の安全管理に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・横断歩道の道路標示が見えにくくなっている危険な箇所などの情報収集に努める等、市としての取り組みを考えること。

【事故防止につながる機器の導入を支援すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ドライブレコーダーが普及し、事故防止への意識が高まったと感じる。
- ・事故防止につながる装置や機器の導入費用への補助金を検討してほしい。

1 7 防犯対策の推進

【犯罪から市民を守る講習の充実や啓発を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・サイバー犯罪や特殊詐欺に対する市民への啓発や、出前講座の充実。
- ・民間企業と協同し詐欺防止活動や啓発活動に努めること。
- ・市民の犯罪防止への意識付けするために、チラシや啓発グッズを各家庭に配布する。

- ・こどもがインターネットのトラブルに巻き込まれないように、親子で情報モラルを学べる講習を行うこと。

【地域で行なう防犯活動を支援すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・パトロール隊は機能しているので継続し、新規隊員の募集に努めること。
- ・行政とパトロール隊との意見交換をする場を設けること。

18 住環境の充実

【公営住宅の建て替えについて早急に再検討をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・公営住宅のあり方（個数・統廃合）について検討すること。
- ・費用が高騰する中で適正な建築工法を検討すること。
- ・住宅建て替えの可否について適切に判断すること。

【公園遊具の必要性について検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・公園遊具が必要かニーズを把握すること。

【ゲリラ豪雨に対応できるよう既存の施設（公園・空地）を利用した対策を検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・インフラ（調整池や排水管の設置等）に頼らない豪雨対策を考えること。
- ・雨水対策について根本的に考えを変えて対策すること。

【公園・道路の樹木を適正に管理すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・公園の樹木の管理、道路沿いの樹木の管理を徹底すること。

19 水環境の保全

【地下水確保のための取り組みを周知啓発すること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・地下水利用による環境への影響を把握し、発信すること。
- ・地下水保全に対する取組強化を行うこと（雨水の利用、灌漑用水の利用）。
- ・山林・川等の環境保全活動を行うこと。

【安定した水資源を確保するための関係機関との連携強化を行うこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・合志市だけでは解決しない問題に対する関係機関との連携強化が必要。
- ・県や市それぞれの役割を明確化すること。

20 水の安定供給と排水の浄化

【上水道の水質の安全管理に努めること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・有機フッ素化合物（PFAS 等）の安全性、水に含まれる過程を市民に説明すること。
- ・企業と連携して水質の安全管理に努めること。

【水の安定供給に努めること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・緊急時に対応できるようバックアップ体制の維持とそのメンテナンスに努めること。
- ・人口増加や企業立地により水不足に陥らないよう努めること。

2 1 廃棄物の抑制とリサイクルの推進

【不法投棄をさせない環境づくりを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・山林、川、畑などを整備することで不法投棄させない環境を作ること。
- ・資源物の廃棄を減らすために、主要な施設に資源物回収ボックス等を設置すること。
- ・地区別の資源物回収を促し、リサイクルに対する意識づけを行うこと。

【ゴミ出しルールの周知啓発方法を再検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・“分別すれば資源・混ぜればゴミ”となることを繰り返し周知し、資源物回収の重要性を理解してもらうこと。
- ・ルールを守れない要因を確認し、効果的な周知方法を検討すること。
- ・転入者に対するゴミ出しルールの周知方法を工夫すること(多言語化対応を含む)。
- ・合志市公式 LINE の多言語化を行うこと。
- ・ゴミ袋のばら売り(1枚~購入できるように)を実現すること。

2 2 地球温暖化防止対策の推進

【温室効果ガス排出削減に向けた取組強化・啓発強化に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市内企業に温室効果ガスの削減目標を掲げてもらい、削減に向けたサポートを市で行うこと。
- ・緑(山林、畑、公園等)を残す取り組みを行うこと。
- ・温暖化対策に資する家電・住宅設備への補助金の強化を行うこと。
- ・身近なところからできる温暖化防止策の周知啓発を行うこと。(庭に植物を植えて緑化する等)

2 3 計画的な土地利用の推進

【現状に合った区域区分の見直しをすること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ 集落内開発ができない地域の土地利用を考えること。
- ・ 人口減少していく地区への規制緩和をすること。
- ・ 人口減少地区に公営住宅の設置を検討すること。

【農業ができる環境を整えながら土地利用を計画的に推進すること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ 農業者が安心して農業ができる環境を確保すること。
- ・ 第1種農地についてのあり方を考えながら土地利用を推進すること。

2 4 計画的な道路の整備

【安全安心な道路環境を整備すること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ 通学路の安全確保に努めること。
- ・ 歩道の適正な維持管理（適正な草刈り）に努めること。
- ・ 小中学校周辺の通学路整備を進めること。

【国道387号と県道大津西合志線の4車線化を早期に実現させること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ・ 県道大津西合志線を合志市まで4車線化するよう要望すること。
- ・ 県道大津西合志線を多車線化しバスレーンを設置すること。

2 5 公共交通の充実

【公共交通の利便性の強化に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ 待合環境を改善すること。
- ・ 渋滞対策を行うこと。

【ターゲット・地域性を考慮して公共交通を再編すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ 地域ごとに買い物や通院の場所も違うため、ニーズをくみ取って路線を検討すること。
- ・ 地域住民の意見を参考に地域ごとのバスルート、バス停の位置の再検討を行うこと。
- ・ 高齢者に対する公共交通の利便性の周知方法を検討すること。
- ・ 公共交通をより身近に感じてもらえるような取り組みを検討すること。
- ・ 通勤通学で使える時間・ルートの設定を検討すること。

【コミュニティバスの周知方法と利用促進策を検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ 使ってみると便利だが、知らない人も多いため周知する方法を検討するべき。
- ・ 利用促進に向けた取り組み内容の検討を行うこと（親子でバス講座、乗継の待ち時間を利用したイベントの企画等）。
- ・ 公共交通を利用するメリットを市民に対して周知すること。
- ・ コミュニティバスの時刻表を分かりやすく（高齢者にも見やすく）すること。
- ・ 自家用車を持たない外国人に対して、公共交通利用を呼び掛けること。
- ・ 自家用車から公共交通に転換してもらえる取り組みを検討すること。

26 農業の振興

【農地集約を加速させ農業経営が維持できるよう努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ 農業が継続して経営できるよう農地の確保をすること。
- ・ 農地の集約を加速させること。

【物価高騰が続く中、農業所得が向上するよう支援すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ 農家の物価高騰に対する支援をすること。
- ・ 農業所得の向上を図ること。
- ・ 農業用資材の高騰に対する支援をすること。

【農業者が気候変動に対応できるよう研究機関と連携した取り組みをすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ 農作物の予想について研究機関へ情報提供を求めること。
- ・ 気候変動に対応できるような勉強会を研究機関へ求めること。
- ・ 関係機関と連携し、市と農業者が情報を共有すること。
- ・ 気候変動に対応した営農支援をすること。

【新規就農に繋がるよう、農地のマッチングをすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ 新規就農が実現するよう農地のマッチングすること。
- ・ 新規就農者へ支援をすること。
- ・ 高齢農業者と新規就農者のマッチング（技術を伝える・事業承継等）の手助けを行うこと。

【スマート農業を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ スマート農業の推進のために支援すること。
- ・ ドローンの資格取得を支援すること。

27 商工業の振興

【市内企業に市の農産品を活用してもらえよう行政がマッチングを図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市内企業の社員食堂や福利厚生品の品として、市の農産加工品を活用する取り組みを市が支援すること。
- ・商業者と生産者の交流の場を設けること。

【市内事業者の事業継承について支援すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・事業継承を推進すること。

【合志ブランド品の開発や改良に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・マルシェやイベントで市内の事業者を活性化させること。
- ・ふるさと納税の返礼品につながるブランド品の開発をすること。

【商工会の会員数が増加するよう支援すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・商工会の加入数を増やすこと・商工会の活動を活性化させること。

28 企業誘致の促進と働く場の確保

【地元雇用に繋がる企業誘致をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・地元の若者が働きやすい企業の誘致をすること。
- ・若者が働く場の確保をすること。

【企業誘致をするにあたって農地を守るよう努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・山林へ企業誘致して農地を守ること。

【産業共生につながる企業誘致をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・農業と加工業が連携し、市の産業の発展と共生につながる誘致をすること。

以上